

2011年度 明治安田こころの健康財団 集中講座ご案内【保育・学校教育関係】

(日程、テーマ、受講料等は変更する可能性があります)

*各講座の詳細・最新情報や申込方法は、ホームページ (<http://www.my-kokoro.jp/>) 等でご確認願います。

講座番号/ 開催日程	講座名/企画講師(敬称略)	出講講師(出講順、敬称略)	会場/ 募集人数	受講料
No.11410 8/6(土) 10時～16時	子どもを育てる「コミュニティワーク」のスキルアップをめざして 筑波大学大学院 石隈 利紀	家近 早苗:聖徳大学 富樫 八郎:沖縄大学 山本 恒雄:日本子ども家庭総合研究所	財団 講義室/ 70名	12,000 (円)
8/7(日) 10時～16時	<p>社会が激しく変化し、「苦痛や汚れ」を見ないようにし、弱い者を排除しようとする文明のなかで、子どもの育ちは危機にあると言えます。不登校、いじめ、非行は、子どもの苦戦の表れであり、発達障害は子どもの苦戦の要因の一つです。そして貧困や児童虐待は、子どもの成長に大きな影響を与えます。一方、学校にも、地域にも、子どもを育てる資源は多様にあります。しかし、子どもの援助者は子どもの問題を一人で抱えていることが多いようです。今こそ、「チーム援助」のスキルを高め、「助けられ上手」になりましょう。</p> <p>本講座では、ソーシャルワークの専門家として子どもの貧困や虐待にかかわってこられた富樫八郎さん、山本恒雄さん、そして学校心理学の立場から不登校・いじめや発達障害に関してチーム援助を行ってきた家近早苗さんと石隈利紀が、「気づき」と「技術」を提供するワークショップ(講義と演習)を行います。</p>			
<p>☺ 2010年開催「学校と地域に橋をかける」開催講座の感想よりご紹介 ☺</p> <p><input type="checkbox"/> 全 般 ・チーム支援に必要な外部機関の話を初めて詳しく聞いた／「正しい悩み方」の方向が見えた気がする</p> <p><input type="checkbox"/> 講 義 (石隈先生・富樫先生・山本先生・家近先生) ・「ソーシャルワーク」はとても新鮮で有意義だった／上手な交渉術について具体的に学べ、とても参考になった／虐待通告現場の厳しさを知った。「法のねじれ」について初めて知った／児相の立場から保護者、警察、学校との連携のあり方がどう見えているか、学校と違った視点から聞いてよかった／“ほんものチーム”の作り方が大変勉強になった／本当にエンパワーメントされる話だった</p>				
No.11310 8/27(土) 13時30分～ 17時	子育て・家庭支援における保育者の行動可能性 関東学院大学 土谷 みち子 / 日本女子大学 飯長 喜一郎	井上 悟:都立中部総合精神保健福祉センター 松岡 美子:横浜市NPO法人グリーンママ 新澤 拓治:東京子ども家庭支援センター	財団 講義室/ 120名	12,000 (円)
8/28(日) 9時15分～ 15時50分	<p>近年ますます保護者の方々が抱えている子育てのご苦労は多く、また保育者の皆様が疲弊している実態も見えます。未来に向けて、子どもたちが豊かに育ち、また保護者が幸せに子育てをするために、保育者や保育現場は何ができるか、皆様と共に考えたいと思います。</p> <p>今回は、保育者養成カリキュラムの改正を受けて、子育て・家庭支援に関わる講座としました。第一日目の基調講演は、虐待の背景にあるものとして指摘される、保護者の心の問題への対応について学びます。続いて2日間連続で、地域社会に活躍の場を移した保育者や地域支援者の声を聞き、保育者の行動の可能性を考えます。保育現場にとどまらず、地域社会の中で、保育者はどのような活動をすることができるでしょうか。皆様の実践を伺いながらの意見交換もしたいと思います。多くの支援者や保育者のご参加を得て、他地域の方々との交流も深めていただければと思っております。皆様との熱い議論を楽しみにしています。</p>			
<p>☺ 2010年度開催「保育者による子育て支援-困難なケースをめぐって」の感想よりご紹介 ☺</p> <p><input type="checkbox"/> 全 般 ・子育て支援を幅広い視点から考えることが出来た／みんなの力を借りる大切さを感じた／困難ケースについて特に、公だけでなく民との連携が必要だと感じた</p> <p><input type="checkbox"/> 講 義 (玉井先生・塚原先生・仁木先生・土谷先生・飯長先生) ・早期発見のリスクがあることを知った／民の力が中心のネットワーク作りはこれからの時代のキーポイントだと感じた／子育て支援センターの役割の大きさを実感した／親の辛さの受け止めの必要性を感じた／介入しすぎず、さりげないかわりや、傾聴することの大切さを感じた</p> <p><input type="checkbox"/> 受講者との対話 ・講師が身近に感じられた／日常の保育、支援場面で参考になる話が聴けた／質問への答えが良い振り返りになった</p>				

主催・問合先：財団法人 明治安田こころの健康財団

〒171-0033 東京都豊島区高田3-19-10 TEL 03-3986-7021

JR山手線、東京メトロ東西線、西武新宿線「高田馬場駅」より徒歩約7分

